

ホタル考

我が家周りで飛翔した今年のホタルの数はこの十数年の中で最も多く、黒い杉木立を背景に乱舞するその姿は見事なものであった。このところ大洪水もなくホタルの幼虫やその餌となるカワナナが土砂に埋もれる被害がなかったからであろう。二〇〇七年台風の襲来の翌年に飛翔数が激減したこともそのことが分る。

私が生徒のころの山の斜面は、雑木や草も多く、走る兎の姿が見えたものである。昔も大雨が降り洪水もあった。だがホタルは毎年翔んでいたと思っっている。大雨が降っても、川の水は徐々に増えそして減っていった。川筋には雑草が根を張り、水が引けば横倒しの状態からすぐ立ち直った。土砂もそのため流出が少なかった。

戦後、植林された杉・松は成長したものの外材の輸入で需要が減ったためか、その多くは管理されることもなく、枝は伸び放題で

日光を遮り地面が露出している。ひと雨あれば、それは山の斜面を下り、沢から川へと濁流となって駆け下る。小さなホタルの幼虫やカワナナは、逃げる余裕も場所もなく土砂に巻き込まれる。

今、荒れている山と川を落葉の堆積物が自然のダム役割をはたしていたむかしの姿に復活させることが、風物詩「ほたる狩り」を後世に残す道の基本的な課題ではないかと思う。

伸長した杉木立がホタルの飛翔をより美しく見せるバックスクリーンの役割をはたしていることは皮肉なことである。

(K, H)



アベノミクスの

エンジンを使い分かつ

経済対策でエンジンをふかすにはガソリン代という税金がかかる。

今回は事業規模で28兆円、財政規模は13兆円。わずか3年前の2013年、アベノミクス開始時の経済対策は20兆円。効果がなかったのか。リニア新幹線や道路・港湾・空港整備などと、またも借金を増やしての大型公共事業である。

さらに気になるのが、「安全・安心確保」と自衛隊の兵器調達である。購入予定の中に

- ・ 新型哨戒機：川崎重工
- ・ C2輸送機：川崎重工 など

日本企業による武器・兵器の製造輸出も経済対策として進められることに違和感と危険性を感じる。

儲けのために平和が脅かされる。武器を使いたくなる。原爆だって、連合軍は日本の敗戦後の処理を話し合う一方で、広島・長崎に2種類の違う原爆を落とすした。人も物も破壊する武器を輸出するのは、自衛ではない、罪であると思う。

知子のひとりごと

常山 知子

不安定な天気が続きました。

その日(八月二〇日)も朝から雨、国神地区ふれあい納涼祭、夕方から長言寺を借りて行われました。役員の方は朝からお寺に集まりテントを張ったり、電気配線をしたり、雨に濡れながらの作業でした。

国神太鼓保存会の力強い秩父屋台ばやしでオープニング。焼き鳥、もつ煮、生ビール、かき氷、焼きそば。フランクフルトなど、食べ物地区の人たちの手づくりです。

カラオケ、秩父音頭の演奏とにぎやかに交流が続きます。その中で目を引いたのは、国神太鼓保存会の人達といっしょに太鼓をはいた子ども達、あどけない顔でバチを持ち、太鼓を打つ姿。将来が楽しみです。

そして最後のイベントは福引きです、何が当たるか？ティッシュペーパーから冷蔵庫まで。なかにはお米5キロ！ ハラハラドキドキです。28回にもなる納涼祭、地域のつながりを大切に、これからも末永く続いて欲しいものです。

役員の皆さん、ご苦労様でした。

憲法9条守り 明るい未来を

日本共産党

生活・法律相談 お気軽にご連絡ください

町議会議員 常山 知子

電話・FAX 62-6733